

化粧品・健康食品用プラセンタエキスの開発支援事例

福岡県工業技術センター生物食品研究所、佳秀工業株式会社

目的

- プラセンタとは哺乳類特有の臓器である胎盤をエキス化したものです。
- 古来より美容や滋養強壮目的で利用経験があり、化粧品や健康食品の素材として注目されています。
- エキスの製造工程で有効成分のロスや失活が起こることから、これらを最小限に抑えた高機能性プラセンタエキスの開発を目指しました。
- この中で、作製したエキスの機能性を評価する技術が課題でした。

概要

生物食品研究所が保有する設備や評価技術等を用いて、プラセンタエキスの機能性評価を行いました。

- ★2013年に技術相談 → 補助事業を活用しながら開発支援
- 2014 (H26) 年度
中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業
- 2015-2016 (H27~28) 年度
福岡県新製品・新技術創出研究開発支援事業
- 2019-2021 (R1~R3) 年度
戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)

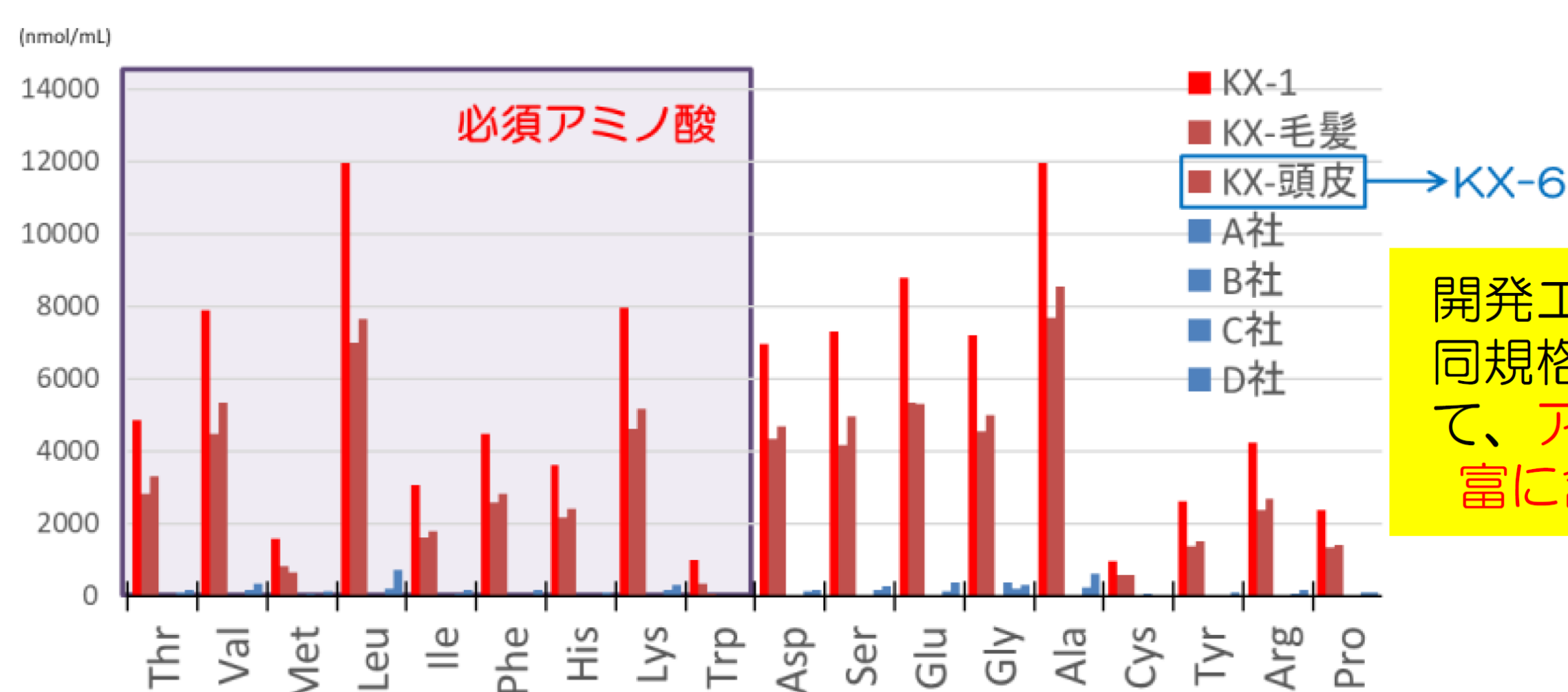
佳秀工業株式会社
 プラセンタエキスの製造工程の確立
 アミノ酸の測定 (設備利用: アミノ酸分析装置)
 ミネラルの測定 (設備利用: ICP発光分光分析装置)

プラセンタ サンプルの提供 ↓ ↑ 評価データの フィードバック

福岡県工業技術センター
 Fukuoka Industrial Technology Center
 フタサイトカインの測定
 正常ヒト細胞での評価系確立と評価試験
 抗酸化活性測定

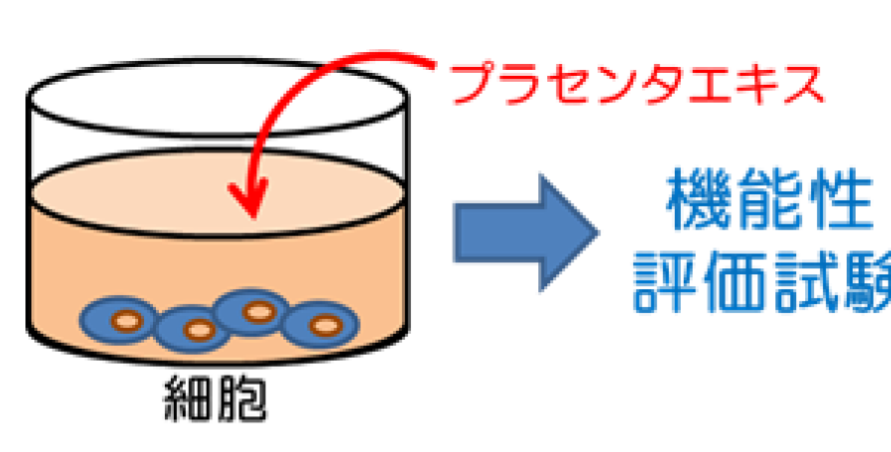
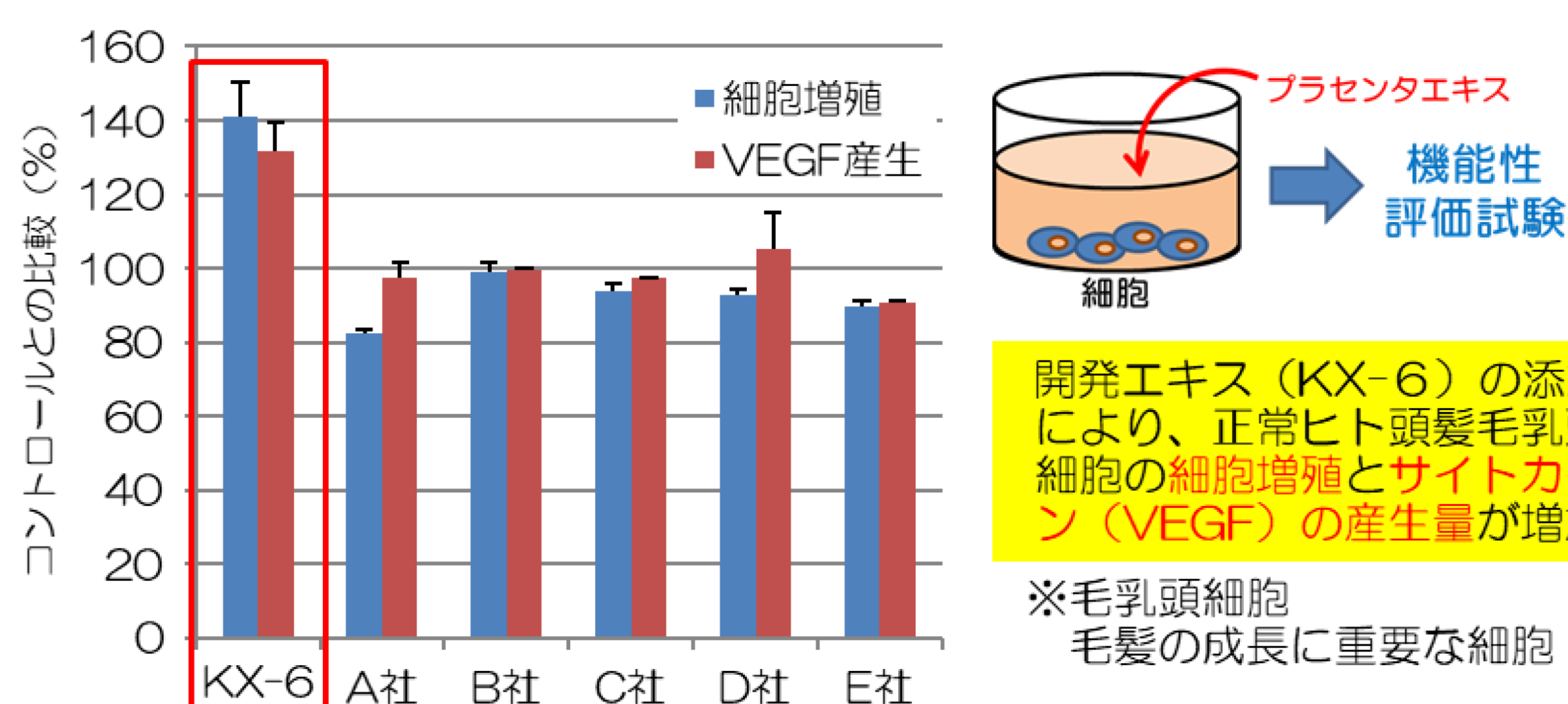
開発支援体制

成分分析: 遊離アミノ酸18種類
 他社製品との比較 (外原規プラセンタエキス (1) 該当品)



開発エキスは他社同規格品と比較して、アミノ酸を豊富に含んでいる

細胞を用いた機能性評価



開発エキス (KX-6) の添加により、正常ヒト頭髪毛乳頭細胞の細胞増殖とサイトカイン (VEGF) の産生量が増加
 ※毛乳頭細胞 毛髪の成長に重要な細胞

プラセンタエキスの機能性評価試験 (一例)

成果

独自の製造工程確立により、栄養豊富で機能性の高いプラセンタエキス (バージンプラセンタ®) の開発に成功しました。

化粧品・健康食品原料 (B to B)

基礎化粧品・サプリメント (B to C)



KX シリーズ
 KX-1~5 (スキンケア用)
 KX-6 (スカルプケア用)



バージンプラセンタ
 純末 P100



GENPRESS 天使のおまもり
 オールインワン美容液
 スカルプ美容液
 プラセンタ原液サプリ



※日本健康食品規格協会 (JIHFS) の健康食品原材料 GMP 認証を取得

2021年9月には、肌の保湿力保持に関する機能性表示食品の届出が受理されました。現在はサポイン事業の成果を活用し、別の機能性での届出を目指しています。

【お問い合わせ先】

■研究に関すること
 古賀 慎太郎 (コガ シンタロウ)
 福岡県工業技術センター生物食品研究所 生物資源課
 電話: 0942-30-6644
 E-mail: koga-s8249@fitc.pref.fukuoka.jp

■商品に関すること
 寺本 充寛 (テラモト ミツヒロ)
 佳秀工業株式会社 ヘルスケア事業部
 電話: 093-701-1021
 HP: <https://kasyu-biochemistry.com/>